

## 九州地区の8年5月住宅着工戸数

前年同月比41.6%増の5,423戸、福岡県は77.8%増

国土交通省がまとめた令和8年5月の住宅着工統計によると、九州地区の住宅着工戸数は前年同月比41.6%増の5,423戸で、床面積は同42.7%増となっている。県別の住宅着工戸数は前年同月比で福岡県が77.8%増、佐賀県が3.2%増、長崎県が31.1%減、熊本県が28%増、大分県が55%増、宮崎県が52.2%増、鹿児島県が9.7%増となっている。

## 新設住宅着工戸数(令和8年5月、令和7年5月)

都道府県	戸数・件数(戸・件)			床面積の合計(m <sup>2</sup> )		
	令和8年5月	令和7年5月	前年対比(%)	令和8年5月	令和7年5月	前年対比(%)
福岡	2,804	1,577	177.8	211,036	124,257	169.8
佐賀	228	221	103.2	23,013	18,223	126.3
長崎	303	440	68.9	24,223	33,704	71.9
熊本	731	571	128.0	58,871	40,871	144.0
大分	507	327	155.0	37,438	25,164	148.8
宮崎	318	209	152.2	28,811	18,943	152.1
鹿児島	532	485	109.7	46,564	40,113	116.1
九州地区計	5,423	3,830	141.6	429,956	301,275	142.7
沖縄	918	406	226.1	66,048	35,005	188.7
山口	436	259	168.3	38,551	23,048	167.3
全国計	57,877	43,237	133.9	4,470,911	3,333,425	134.1